

名古屋大学大学院環境学研究科・教授公募要領

1	募 集 件 名	教授の公募
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構
3	所 属	名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻地球化学講座
4	募 集 内 容	<p>[職務内容（業務内容、担当科目等）] （雇入れ直後）</p> <p>[業務内容]</p> <p>地球環境学専攻（地球惑星科学系、以下当系と言う）では、地質・地球生物学、地球化学、地球惑星物理学、生態学の研究分野により、地球環境の過去・現在・未来の状態とその変動メカニズムを解明するとともに、地球環境システム学の研究分野により、環境問題や自然災害等の地球規模課題の解決に資する研究を行い、これらの研究を国際的に推進できる人材育成を進めています。さらに、当系の将来像として各研究分野間の連携を強化し、それらの成果を融合させることによる地球惑星科学および環境学への貢献を目指しています。</p> <p>本公募では、次の能力および資質を有する人材を求めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球および地球外物質の元素・同位体組成を高精度に分析し、そのデータを理論研究の成果と統合して解釈する能力を有すること。 ・その解釈を通じて、太陽系形成初期から現在に至る惑星形成・進化ならびに人間活動を含む地球環境の変遷を解明する能力を有すること。 ・地球化学講座が担当する大学院および理学部地球惑星科学科の研究・教育（実験・実習等を含む）に積極的に参画できること。 <p>[担当科目]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.大学院（環境学研究科） 博士前期課程：地球化学セミナー、地球化学に関する講義 博士後期課程：地球化学セミナー 2.学 部（理学部） 地球惑星科学特別研究（卒業研究）、地球惑星化学 II、地球化学分析法および実験 I、地球化学分析法および同実験 II、フィールドセミナーI、地球惑星科学セミナー 3.全学教育 地球惑星科学の最前線、地球科学実験 <p>（変更の範囲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海国立大学機構が指定する業務 <hr/> <p>[勤務地]</p> <p>（雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区 （変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所</p> <hr/> <p>[募集人員] 教授・1名</p> <hr/> <p>[着任時期] 2027年 4月1日以降のできるだけ早い時期</p>

5	募集研究分野	大分類	数物系科学
		小分類	地球惑星科学
6	勤務形態	常勤 契約期間：期間の定めなし 試用期間：あり（採用日から6か月）	
7	応募資格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] ・博士の学位を有すること。 ・主体的に研究に取り組む姿勢と能力を有し、独自のテーマと研究スタイルを確立していること。 ・地球および地球外物質の超微量元素・同位体組成データを用いて物質進化を解明してきた実績を有すること。あわせて、新たな実験手法の開発を含む分野で優れた研究業績を有すること。 ・当研究科の中長期ビジョンである地球規模課題への対応と新たな知の創造に貢献する研究を行えること。 ・大学院および学部での教育（実験・野外実習等を含む）を行えること。 ・教育・研究指導を日本語で行う能力を持つこと。ただし、応募した時点でその能力がなくとも、5年程度で前述のレベルに達する見込みがあること。	
8	待遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、保険等）] ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110010928.html ・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制とする。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110001585.html ・専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされる。 ・休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日） ・加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 ・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止	
9	応募期間	2026年5月11日～ 2026年7月13日	
10	応募・選考結果通知連絡先	[応募方法（提出書類の送付先）] 1. 履歴書 2. 研究業績リスト（別紙様式） 3. 主要な論文（3編以内）の DOI 4. これまでの研究経過および教育実績（1000字程度） 5. 今後の研究および教育計画（1000字程度） 6. 所見を求めうる方の2名の氏名、所属、連絡先 7. 類型該当性の自己申告書（様式1） ※上記1. 履歴書、2. 研究業績リストおよび7. 類型該当性の自己申告書については名古屋大学が定める所定の様式で作成して提出すること。様式は、名古屋大学大学院環境学研究科ウェブサイトの教員公募ページからダウンロードできる。 (https://www.env.nagoya-u.ac.jp/jobs/index.html)	

		<p>上記1～6の書類を1つのPDFにまとめ、7の電子ファイルとあわせて、応募期間内（必着）に下記提出先へメールで送付してください。</p> <p>提出先および問い合わせ先：名古屋大学大学院環境学研究科 杉谷 健一郎 電話：052-789-4865 メール：apply-kyoju@eps.nagoya-u.ac.jp</p> <p>[選考内容（選考方法、採否の決定）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書類選考の上、面接を実施。 ・面接実施者については、電話で連絡を行う。
11	そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学は業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 ・面接に要する交通費は支給しません。 ・2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。 ・本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下のURLをご覧ください。 ジェンダーダイバーシティセンターWebサイト： https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロッキング(Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB) 推進宣言： https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ・出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。